



解放大学の講義風景

解放大学は、部落差別をはじめあらゆる差別のない人権社会づくりに取り組むリーダー養成を目的に、鳥取市が主催して十年前に開講しました。これまで二百四十七人の卒業生を送り出し、学校や職場そして地域で活躍しておられます。第5期からは、(財)鳥取市人権情報センターが事業受託しています。

「解放大学では差別の現実から深く学びながら、「気づき・見つめ直し・新たな自分づくり」に挑戦しています。私たち

あなたも受講しませんか？

出会いと学びの場

鳥取市解放大学

ちが願う人間解放とは、他人と比べて自信や劣等感をもつことから自らを解放すること。そして、差別のからくりに基づき、そんなことにだまされない生き方によって、自分ですごく楽になることです。反差別・人権の生き方と

は、前を向いて必死で生きていこうとする姿によって、差別が入り込むすき間がないほど人と人がしっかりとつながり連帯することです。そんな素晴らしい出会いと学びを実感していただけると思います。

～解放大学に学んで～

とにかく解放大学はおもしろい。次から次へと各分野の超一流の方の講義が間近で聞ける。講師は、時には時間を忘れて汗をふきふき圧倒的な迫力をもって熱弁をふるってください。しかも「質問カード」に書いた私のどんな稚拙な質問にも、的確に誠心誠意答えてくださる。その真摯な姿に「人権」を基盤にした人間性の底の深さを肌で感じることができる。受け入れられることの心地よさを感じつつ、「人権」が自分の隣に座っているような親近感を持つことができる。

そして、班討議が楽しい。職種も年齢も違うメンバーが、肩の力を抜いて思ったことを素直に出し合う。解放大学ならではの出会いと学びの場に感謝。

試験もないのに、「もっと勉強したい」と思わせるような不思議な力を与えてくれる。「解放大学に行ってみないか」と声をかけられた時、「忙しいのでちょっと…」と断わらなくて本当に得をした。

この機会に、自分自身の人権は守られているのかなという視点をベースに、部落問題と自分のかかわりを見つめ、新しい自分を見つけたほしい。

第5期卒業生

第6期生を募集します

前期(今年度)は「反差別・人権の実践者から、その取り組みと生きざまを学ぶ」をテーマに開講します。
 公募人員=5人程度(1期・2年間通じて受講できる人)
 申込期限=5月31日(木)
 前期受講料=18,000円
 会場=鳥取市解放センター(幸町151)
 受講者の決定=本人あてに連絡します
 問い合わせ先=(財)鳥取市人権情報センター
 (☎24-3125・FAX24-3444)

第6期(前期)日程

とき	内容(講義・班別討議など)
1 7月6日(金)	開講式 記念講演「弾き語り・人間解放を求めて」 藤井我楽夢リーダー 宮崎保さん
2 7月11日(水)	「わたしと同和教育」 八尾市立桂中学校教諭 土田光子さん
3 7月17日(火)	「わたしと部落問題」 鳥取市人権情報センター部落問題研究部会 林光宏さん
4 7月26日(木)	「わたしと在日問題」 大阪人権博物館学芸員 文公輝さん
5 8月3日(金)	「わたしと部落解放運動」 部落解放同盟高知県連小高坂支部 呉島末信さん
6 8月9日(木)	「わたしと女性問題」 生協クローバー常務理事 新田ひとみさん
7 8月23日(木)	「わたしと障害者問題」 障害者を普通学校へ全国連絡会世話人 森本タツ子さん
8 8月30日(木)	「わたしと外国人問題」 元早稲田大学国際部教授 池田百合子さん
9 9月4日(火)	自己啓発学習 ~「わたしと人権」~ (班討議とレポート作成)
10 9月11日(火)	
11 9月18日(火)	
12 9月26日(水)	閉講式 記念講演「わたしと人権」 大阪人権博物館館長 向井正さん

*時間は、9時~17時です。ただし1日目と12日目は、13時~17時です。
 [後期(来年度)日程も12日間を予定しています]